

法科大学院入試講座

試験概要

受験資格

四年制大学卒業
(または卒業見込)
※早期卒業を含む

全国合格率

12~70%
(令和5年)

募集要項

▶申込期間は延長する場合がありますので、関大生協ホームページを随時確認してください。
▶受験料については各試験団体にお問い合わせください。

講座ガイダンス

詳細はこちらからご確認ください



コース名(回数)	開講時期	受講形態	申込期間	開講期間	受講料	試験日
入門講座+論文基礎力養成答練 (全142回)	5月	対面+Web	2025年4月1日~ 2025年5月31日	2025年5月17日~ 2026年5月18日 (Web配信期限2028年1月31日)	254,000円(税込)	大学卒業年度の 7月頃~1月頃

学習スケジュール(開講期間)

2025年5月中旬~2026年5月中旬

法科大学院とは

法科大学院は、法曹(弁護士・検察官・裁判官)に必要な学識及び能力を培うことを目的とする専門職大学院です。2年制の既修者コースと3年制の未修者コースの2種類が存在します。修了すると、司法試験の受験資格と「法務博士(専門職)」の専門職学位が与えられますが、主な目的は前者になり、大半が司法試験の最終合格を目指します。



法科大学院入試講座を受講するメリット



法科大学院入試講座の学習内容(一例)

入門／基礎固め



入門講座 全114回 (342時間)

コアテスト 34回 論文基礎力養成答練 32~35回

入門講座 基本7科目107回(321時間)

法律知識ゼロの方も合格に必要な知識の90%を修得できる!

全修講座	1回
民法	24回
憲法	13回
民事訴訟法	14回
実務基礎科目(民事)	4回
刑法	18回
刑事訴訟法	14回
実務基礎科目(刑事)	3回
憲法	14回
行政法	9回

法律を学ぶ際に一番重要なリーガルマインドを修得し、法律基本7科目+実務基礎科目の基本的事項を学習します。日常生活ではあまり使用しない法律用語も、具体例を使ってわかりやすく説明しますので、初めて学ぶ方でも安心して受講していただけます。司法試験に必要な知識の9割が身に付き、その9割に関しては100%理解することができます。

コアテスト34回

重要エッセンスを抽出して理解度確認

入門講座で扱った内容から、論文試験で問われる重要エッセンスだけを抽出して出題します。まず、ここで出題された内容をマスターすることが最優先学習です。テスト後は、解説講義を行います。テスト内容はコアノートとリンクしているので、コアテストや講義・コアノートで着実に知識の定着を図ります。

論文基礎力養成答練 32~35回

入門講座でインプットした知識を答案に表現する能力を養成!

書き方の基礎	1回
民法	7回
憲法	4回
民事訴訟法	4回
刑法	6回
刑事訴訟法	4回
憲法	5回
行政法	4回

一度も法律論文を書いたことがない方がスムーズに演習に入れるように各科目の冒頭に論文の書き方講義を設けています。また、各回、答練の後に解説講義もついているので、分りにくい点はすぐに解消できます。どのように論述すればよいのかを解説しますので、次回何をどう書けばよいかわかり、自然に論述力が身につくよう設計されています。

司法試験合格に向けた2つのルートの内、いわゆる「法科大学院ルート」(既修者コース)を目指す法律入門講座です。まずは、7科目の基本的事項を学習し、法律を学ぶ際に最も重要なリーガルマインドを修得(107回)。さらに、実際に法律論文の書きながら、入試に向けた論述力を身に付けます(35回)。